

# TAD

**TAD-D1000TX**  
DISC PLAYER

OWNER'S MANUAL



# 安全上のご注意（安全にお使いいただくために必ずお守りください）

- あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときに及ぼす危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。




## 警告

「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。

## 注意

「人が軽傷を負うまたは可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵文字で区分し、説明しています。

 注意（警告を含む）しなければならない内容です。	 必ず行っていただく内容です。
 禁止（やってはいけないこと）の内容です。	

## 警告



### 異常が発生したときは、すぐに使用をやめる

- 音が出ない、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするときは、電源プラグを抜く
- 本機を落としたり、内部に水や異物が入ったりしたときは、電源プラグを抜く

そのままお使いになると、火災・感電の原因となります。電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



### 風呂場・シャワー室など水滴のかかる場所では使用しない

火災・感電の原因となります。



### 本機をぬらさない

火災・感電の原因となります。



### 本機の上に水などの液体の入った容器を置かない

本機の上に、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。本機の上に水などの液体がこぼれたり、液体が中に入ったりすると、火災・感電の原因となります。



### 本機の上に火のついたローソクなど裸火を置かない

火災の原因となります。



### 表示された電源電圧（交流 100 V、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところに置くと、倒れたり落下したりしてけがの原因となります。



## 通風を妨げない

本機の内部に熱がこもり、火災・感電の原因となります。また、次のような使い方をしないでください。

- あお向け、横倒し、逆さまにする
- 押し入れなど、風通しの悪い狭い場所に設置する
- じゅうたんやふとんの上に置く
- テーブルクロスなどをかける



## ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となります。



## 電源プラグや電源コードを破損しない

電源プラグや電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。破損して、火災・感電の原因となります。また、電源プラグや電源コードの修理は、販売店にご依頼ください。



## 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因となります。また、緩んだコンセントは使用しないでください。



## 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をする

湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、乾いた布で拭いてください。



## カバーを外したり、改造したりしない

本機の内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。



## ディスクトレイ部などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない

火災・感電の原因となります。



## 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

感電の原因となります。



## 小さな部品は幼児の手の届くところに置かない

万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。

## 注意



## 油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

調理台や加湿器などのそばに置くと、油煙・火災・感電の原因となることがあります。



## 直射日光が当たるところなど、温度が異常に高くなる場所に放置しない

火災・感電の原因となることがあります。



## 本機を他の機器と接続するときは電源を切る

本機をオーディオ機器、スピーカーなどに接続するときは、それぞれの取扱説明書をよく読み、電源を切ってから接続してください。また、接続するときは指定されたケーブルを使用してください。



## 本機の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きさのものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。



## 本機の上に乗らない

倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。



## ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクが飛び散ってけがの原因となることがあります。



## レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



### 付属の電源コードは本機の専用部品です

付属の電源コードは、本機のみで使用することを目的とした専用部品です。他の機器では使用できません。本機では、付属の電源コード以外、使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、本来の性能が出なかったり、電流容量の不足で発熱したりして、火災・感電の原因となることがあります。



### 長期間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

通電状態で放置・保管すると、絶縁劣化・漏電などにより、火災・感電の原因となることがあります。




### この機器を使用できるのは日本国内のみです、海外ではご使用になれません



### 10 cm 以上のすきまをあける

- 本機を設置する場合には、壁から 10 cm 以上の間隔をおいてください。
- また、放熱を良くするために、他の機器との間は少し離して設置してください。
- ラックなどに入れるときは、本機を天面から 10 cm 以上、背面から 10 cm 以上、側面から 10 cm 以上のすきまをあけてください。
- 内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

 <p><b>愛情点検</b></p>	<b>長年ご使用のオーディオ機器の点検を!</b>	
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。</li> <li>・電源コードにさけめやひび割れがある。</li> <li>・電源が入ったり切れたりする。</li> <li>・本体から異常な音、熱、臭いがする。</li> </ul>	➔

本機の使用環境温度範囲は5℃～35℃、使用環境湿度は85%以下です。  
 風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c\_Ja

#### 注意

この製品は、レーザー製品の安全基準 IEC 60825-1 : 2007 規格の基で評価されたクラス 1 レーザ製品です。

**クラス 1 レーザ製品**

D58-5-2-2a\_A1\_Ja

## 設置する場所

組み合わせて使用するステレオシステムの近くの、安定した場所を選んでください。

## 本機を末永くご愛用いただくために、次のような場所には設置しないでください



- 直射日光のあたるところ
- 湿気の多いところや風通しの悪いところ
- 極端に暑いところや寒いところ
- 振動のあるところ
- ホコリやタバコの煙の多いところ
- 油煙、蒸気、熱があたるところ(台所など)

## 上にものをのせない

本機の上にものをのせないでください。

## 熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にものをのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

## 本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面が乱れる場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

## 本機を移動する場合

本機を移動する場合は必ずディスクを取り出し、ディスクトレイを閉じてください。さらに本体の電源ボタン(またはリモコンのDISC PLAYER ボタン)を押し、表示窓の[OFF]表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

## ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンの▲ OPEN/CLOSE ボタンを押してディスクトレイを開けないでください。ディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因となります。

## 本機のお手入れ

本機の清掃は、お手持ちのポリシングクロスでから拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を5~6倍に薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ったあと、汚れを拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品を用いるとパネルの表面が侵されることがありますので使用しないでください。またスプレー式の殺虫剤などを本機の近くでは使用しないでください。化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきん等に添付の注意事項をよくお読みください。

## 結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1~2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消えて、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

## ⚠ 注意

工場出荷状態では、本機のライン出力ボリュームは初期値(30)に設定されています。この製品のライン出力ボリューム機能を使用し、直接パワーアンプと接続する場合は、必ずボリュームを0(ゼロ)にしてから接続してください。

- ① 本体の<VOL-ボタン>を押すと、ライン出力ボリュームは小さくなります。
- ② さらに<VOL-ボタン>を押して0(ゼロ)にしてください。

ライン出力ボリュームを大きくした状態で、直接パワーアンプと接続すると、過大な音量が出てスピーカーが破損したり、聴力を損なう場合があります。

# もくじ

安全上のご注意(安全にお使いいただくために必ずお守りください).....	2
使用上のご注意.....	5
設置する場所.....	5
本機のお手入れ.....	5
結露について.....	5
はじめに.....	7
所有する喜びと誇り、聴く喜びと感動のために.....	7
主な特長.....	7
お使いになる前に.....	8
付属品の確認.....	8
リモコンに電池を入れる.....	8
再生できるディスクについて.....	9
再生できるディスクの種類.....	9
ディスクの取り扱いかた.....	10
各部の名称とはたらき.....	11
本体部前面.....	11
本体部背面.....	12
リモコン.....	13
設置と接続.....	14
設置.....	14
接続.....	14
再生する.....	16
ディスクを再生する.....	16
本機を D/A コンバーターとして使う.....	16
設定する.....	17
音量を調節する.....	17
ライン出力レベルを最大値に固定する.....	17
USB 接続について(初期設定).....	17
U1 (AudioClass 1.0)モードについて.....	17
U2 (AudioClass 2.0)モードについて.....	17
SACD や USB の DSD 信号の出力レベルを抑えて聴く.....	18
ECO (省エネ)モードを使う.....	18
ALL RESET.....	18
故障かな?と思ったら.....	19
仕様／保証とアフターサービス.....	21
仕様.....	21
保証とアフターサービス.....	22

## 所有する喜びと誇り、聴く喜びと感動のために

「TAD」という名称は「Technical Audio Devices」の頭文字から命名されました。これは、1975年にパイオニア（株）において最高級スピーカー開発プロジェクトの発足時、技術顧問として参画し、当時 USA プロオーディオ界の第一人者であった故バート・ロカンシーの「基本に忠実な技術こそ本物の技術であり、技術志向に傾くことなく、常に音質を最重視する技術こそ本物の技術である」という理念に基づく、「綿密な理論検討と正確な実験に裏付けられた工学的アプローチ」の手法を表現したものです。

自らのスピーカー理論を実践するための新境地を見出したバート・ロカンシーと、その思想と哲学を受け継ぐエンジニアたちの、決して妥協を許さぬ技術への探究心が、「TAD」という存在そのものなのです。

この「TAD」の意思を受け継ぎ、TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC. は設立されました。

私たちは、当社の持つ最高の技術で、皆様へ聴く喜びと感動を提供していきたいと考えています。

## 主な特長

### 新開発の第三世代 USB エンジンの採用

FPGA 内部回路の動作遅延を大幅に削減し、ローレベルの歪特性を改善、更には PCM 信号はサンプリング周波数最大 384 kHz、ビット数最大 32 bit に対応しています。DSD 信号の DoP 方式伝送でサンプリング周波数最大 11.2 MHz に対応しています。

### デジタルメディアセンターとしてライン出力ボリュームの搭載

ライン出力ボリュームを装備しているため、パワーアンプを接続するだけでシンプルなシステムが組むことができます。多様なメディアに対応し、純度の高い音質を楽しむためのデジタルメディアセンターとしての使い方を提案します。

### 超高 C/N\* マスタークロック UPCG\*\* を搭載

従来より、高音質化のためマスタークロックはトータルジッター量の低減に注力されてきましたが、TAD ラボでは特に中心周波数に対するサイドバンドの低い周波数におけるジッターの低減に着目し、UPCG を開発しました。

高速デジタル通信基地局などで使用される技術手法をベースに、ディスクプレーヤーに要求される性能を極めた専用発振器による高純度マスタークロックがディスクに刻まれた信号の再現性を極限まで高めています。

\* C/N：搬送波対雑音比（Carrier to Noise ratio）

\*\* UPCG：Ultra high Precision Crystal Generator

### 並列接続差動型 D/A コンバーター

パーブラウン製 D/A コンバーターを並列接続で使用し、S/N 比、リニアリティ、ダイナミックレンジ、歪率などのオーディオ性能の向上に貢献しています。これにより、微かな音楽信号までも再生でき、より開放的な音楽を再現します。

### 電源部

本機は、アナログ部とデジタル部にそれぞれ専用大型トroidal トランスを搭載、高い応答性能を誇り、力強さとローノイズの両立を実現しています。

本機は更に電源回路の低インピーダンス化を行いました。

電源インピーダンスの低減によりスムーズな電源供給が可能です。更なる力強さとしなやかさを実現しました。

### 高剛性低重心構造

重量のある極厚ベースを下部に配置することで低重心構造とし、更なる振動制御を実現しています。これによりスピーカーからの音圧等の振動に対して非常に安定した再生を可能にしています。

### DAC モード

高精度 D/A コンバーターと超高純度マスタークロック発振器を持つ本機は D/A コンバーターユニットとしても高い性能を発揮します。サンプルレートコンバーターを搭載し、超高純度マスタークロックでリクロックを行うことで、高精度変換を実現します。

### ISO マウントテクノロジー

本機はリファレンスシリーズを踏襲するスパイク構造のインシュレーターを新たに採用しました。

これにより更なる振動制御を実現しています。

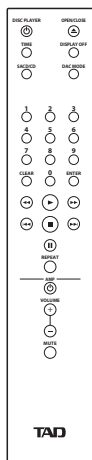
圧倒的な解像度による高次元での音像と音場の融合を体感ください。

# お使いになる前に

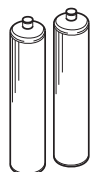
## 付属品の確認

アクセサリボックスの中に、以下のものが入っていることを確認してください。

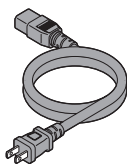
- リモコン× 1



- 単 4 形乾電池 (IEC LR03) × 2



- 電源コード× 1

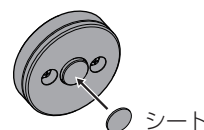


- オーナーズクラブ登録カード× 1
- 個人情報保護シール× 1
- 保証書× 1
- 取扱説明書 (本書)
- シート× 3

(本シートはインシュレーターによる床などへの傷付け防止用です。必要に応じてお使いください。)

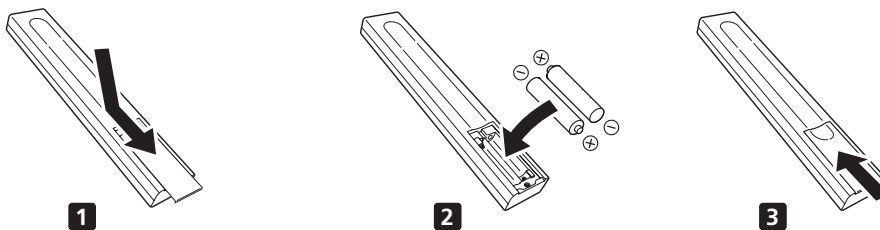


シートの使用例



シート

## リモコンに電池を入れる



付属の電池は動作確認用です。

リモコンの操作範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

### 警告

- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。
- 電池は幼児の手の届くところに置かないでください。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

### 注意

電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂したりする危険性があります。以下の点について特にご注意ください。

- 新しい電池と古い電池、また、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池ケースに電池を挿入するときは、電池でマイナス端子を押し曲げないようにしてください。電池がショートし、液漏れ、発熱の原因となります。
- 乾電池のプラスとマイナスの向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 電池は単 4 形マンガン乾電池 (R03) または単 4 形アルカリ乾電池 (LR03) を使用してください。
- 長い間 (1 カ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。



## 再生できるディスクの種類

下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

SACD



CD



CD-R



CD-RW



“Super Audio CD” は登録商標です。

### SACD の再生について

SACD は 2 ch のみ再生可能です。

### コピーコントロール CD について

当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

### DualDisc の再生について

「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。

DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

### CD-R/CD-RW ディスクの再生について

本機は音楽 CD フォーマットの音楽データが記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起こることがあります。

本機は再生専用機です。CD-R/CD-RW ディスクに録音することはできません。

ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。

※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

### ⚠ 注意

- レコーダー、またはコンピューターで記録した CD-R/CD-RW ディスクを再生できないことがあります(原因:ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- コンピューターで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。

### 本機で再生できないディスクの種類

BD、BD-ROM、DVD、CD-G、ビデオ CD、8 cm CD、DSD ディスク

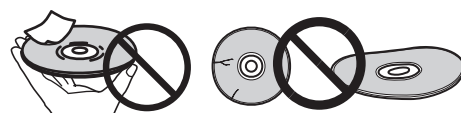
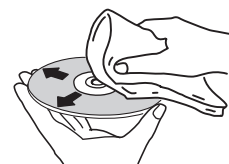
# ディスクの取り扱いかた

## 保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光のあたる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

## ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク（ひびや反りのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やラベル用シールなどを貼り付けしないでください。ディスクが反って、不具合が発生する恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを2枚重ねて再生しないでください。



## 外径 12 cm 以外のディスクについて

- 本機では、外径 12 cm の丸いディスクのみ再生できます。特殊な形のディスク（ハート型や六角形など）や 8 cm ディスクは故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。



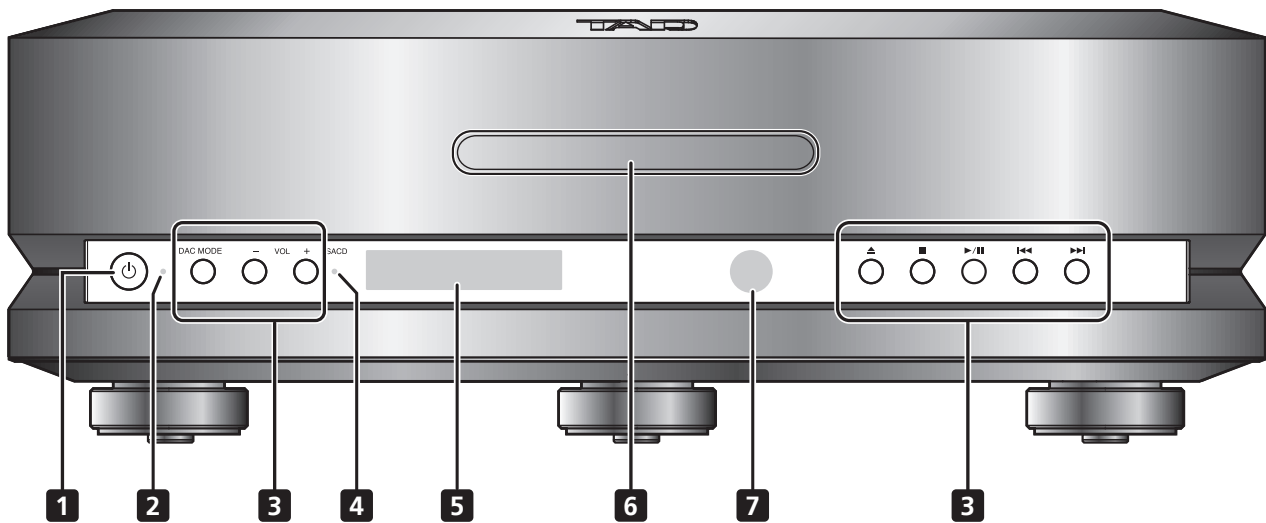
## レンズのクリーニングについて

- レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びすることがあります。このような場合は、「保証とアフターサービス」(22 ページ)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

## ディスクの結露について

- 冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

## 本体部前面



### 1 電源ボタン

電源をオン/スタンバイ（待機状態）にします。

### 2 電源インジケータ

電源（POWER）の状態が表示されます。

黄色点灯：オン（動作可能状態）

消灯：スタンバイ（電源コード接続時、待機状態）

### 3 操作ボタン

本機を操作するときに使います。

#### DAC MODE

デジタル外部入力に切り換わります。ディスク停止中に操作できます。

#### VOL（-/+）ボタン

本機のライン出力の音量を調節します。

#### メモ

- 出力を最大値に固定にして使用するには出力を **78（最大値）** にした状態で **VOL（+）** ボタンを長押しします。

▲  
ディスクトレイを開閉します。

■  
再生を停止します。

#### ▶/||

再生/一時停止します。再生中に押すと、一時停止になります。

#### ◀◀

再生中の曲の始めに戻ります。

#### ▶▶

次の曲に進みます。

### 4 SACD インジケータ

SACD 挿入時、および SACD/CD ハイブリッドディスクの SACD 層の選択時に点灯します。

### 5 表示窓

本機のさまざまな動作の状態を表示します。

### 6 ディスクトレイ

ここにディスクを入れます。

### 7 リモコン受光部

リモコンを約 7 m 以内の距離からここに向けて操作します。

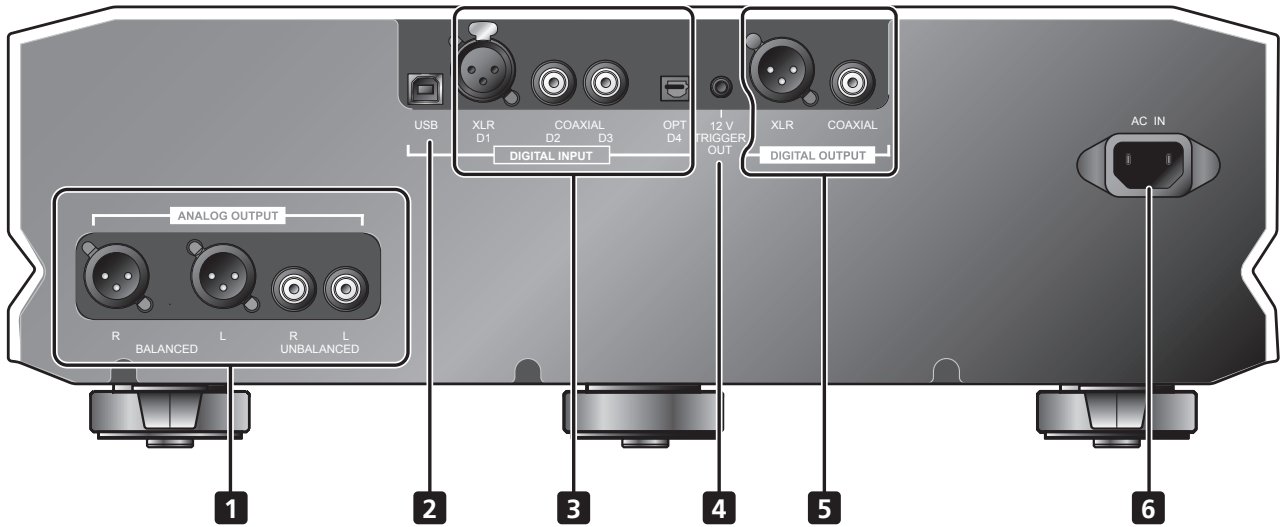
#### メモ

- ディスクの再生を停止すると、リピート再生は解除されます。

## ⚠ 注意

- プリアンプを使用せずにボリューム機能を使用し、直接パワーアンプに接続する場合は、必ずボリュームを 0（ゼロ）にしてから、接続してください。大きな値に設定されていると、過大な音量が出てスピーカーが破損したり、聴力を損なう原因となる場合があります。
- 本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチ操作で表示部がすべて消えた状態になりますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品は電源コンセント近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に簡単に手が届くようにしてください。
- 旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 本体部背面



### 1 ANALOG OUTPUT 端子

プリアンプに接続します。

- XLR BALANCED (バランス) タイプ
- RCA UNBALANCED (アンバランス) タイプ

### 2 USB 端子

USB ケーブルでコンピューターを接続します。

### 3 DIGITAL INPUT 端子

デジタル出力端子を持つ機器に接続します。

- XLR (バランス) タイプ (D1)
- COAXIAL (同軸) タイプ (D2、D3)
- OPT (光) タイプ (D4)

### 4 12V トリガー出力端子

12V トリガー入力端子がある外部機器と接続すると、本機の電源をオン/スタンバイに切り替えることにより、外部機器の電源オン/スタンバイを切り替えることができます。

端子：φ 3.5 モノラルミニジャック

動作仕様：本機の電源オン時は H、スタンバイ時は L が出力されます。

### 5 DIGITAL OUTPUT 端子

デジタル入力端子を持つ機器に接続します。

- XLR (バランス) タイプ
- COAXIAL (同軸) タイプ

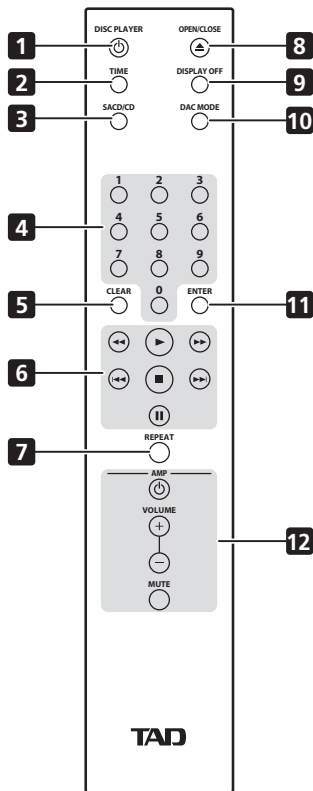
### メモ

- SACD 再生時にはデジタル出力されません。
- CD 再生時には 44.1 kHz/16bit の信号で出力されます。

### 6 AC IN 端子

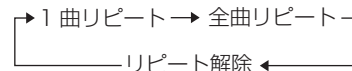
付属の電源コードを接続します。

## リモコン



- 1 **DISC PLAYER ボタン**  
電源をオン/スタンバイ（待機状態）にします。
- 2 **TIME ボタン**  
ディスクの経過時間や残量などを表示します。ボタンを押すたびに、[ 曲の残り時間表示 ] / [ ディスク全体の残り時間表示 ] / [ 経過時間表示（通常表示） ] が切り換わります。
- 3 **SACD/CD ボタン**  
ハイブリッドディスクの再生エリアを切り換えます。ディスク停止中にボタンを押すと、CD エリアと SACD エリアの切り換えができます。
- 4 **数字ボタン**  
聞きたいトラックを指定して再生したいときに使います。数字ボタンで選択して ENTER ボタンを押します。

- 5 **CLEAR(クリア) ボタン**  
選んだ項目を取り消します。番号の入力を間違えたときなどに使います。
- 6 **再生操作ボタン**
  - ▶ - ディスクを再生します。
  - - ディスクを停止します。
  - || - 再生中に押すと、一時停止します。もう一度押すと通常の再生に戻ります。
  - ◀◀ - 再生中、早戻しをします。
  - ◀◀ - 現在再生中のトラックの始めに戻ります。
  - ▶▶ - 再生中、早送りをします。
  - ▶▶ - 次のトラックの始めに送ります。
- 7 **REPEAT (リピート) ボタン**  
ボタンを1回押すごとにリピート再生モードが変わります。



曲を繰り返し再生します。

### メモ

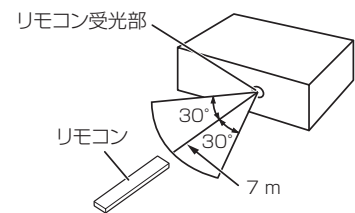
- ディスクの再生を停止すると、リピート再生は解除されます。

- 8 **▲ OPEN/CLOSE ボタン**  
ディスクトレイを開閉します。
- 9 **DISPLAY OFF ボタン**  
本体表示窓を消灯させるときに使用します。
- 10 **DAC MODE ボタン**  
DAC モードに切り換わります。押すたびに、[ U1 (U2) 入力 ] / [ D1 入力 (XLR) ] / [ D2 入力 (同軸) ] / [ ディスク再生モード ] が切り換わります。ディスク停止中に操作できます。
- 11 **ENTER (決定) ボタン**  
設定/選択した項目を実行します。
- 12 **アンプ操作ボタン**  
リモコン機能のついた TAD 製アンプを操作することができます。
  - AMP - アンプの電源を入れる/スタンバイ（待機状態）にします。
  - VOLUME (+ / -) - 音量を調整します。
  - MUTE - 消音します。
  - VOLUME (+ / -), MUTE は本機のライン出力の音量の調整もできます。本体で出力を最大値に固定した場合、このボタンは効きません。
  - リモコンを有効にするには、本体の VOL (-) ボタンを長押ししてボリューム機能を有効にしてください。

### リモコンの操作範囲

本機をリモコンで操作するときは、図の範囲内でリモコンを前面のリモコン受光部に向けてください。

- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができないことがあります。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、機器によっては誤動作することがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。



# 設置と接続

## 設置

### 警告

- 本機を設置する場所は、本機の重量に十分耐えられる強度を持つ、安定した水平・平面な場所をお選びください。倒れるなどして、事故の原因になります。棚などの上に置く場合は、必ず強度の確認を行ってください。
- 放熱のため、本機の上にものを置いたり、布やシートなどをかぶせたりした状態でのご使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。

### 注意

- 本機を設置する場合には、壁から 10 cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から 10 cm 以上、背面から 10 cm 以上、側面から 10 cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本機をじゅうたんやクッションなど、冷却用の空気の流れを妨げる柔らかなものの上に置いたり、狭い場所に置いたりしないでください。
- 本機のインシュレーター内部はラウンドタイプのスパイク構造になっています。インシュレーターの機能を十分に発揮させるため、インシュレーター下部中央の突起部分は固定されておらず、多少動く構造となっています。固定されていない状態が正常で、故障ではございませんのでご注意ください。

## 接続

### 注意

- 本機および各コンポーネントの電源スイッチは、接続がすべて終わるまで、オンにしないでください。
- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。

1. 各機器を接続する。
2. 付属の電源コードを本機の AC IN 端子に接続する。
3. 壁のコンセント (AC 100 V) に接続する。

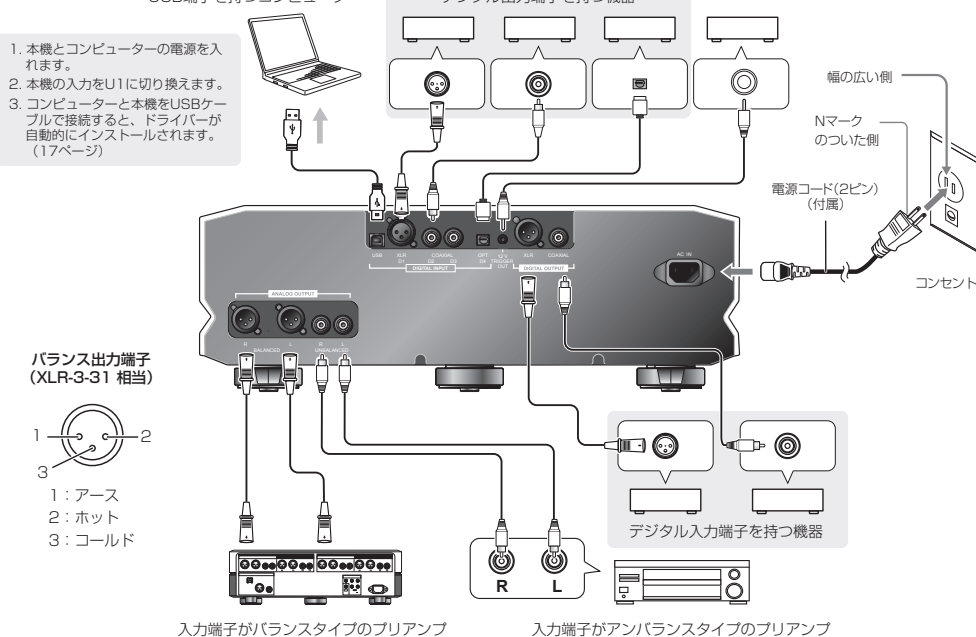
### プリアンプ機能を持った機器に接続する場合

1. 本機とコンピューターの電源を入れます。
2. 本機の入力をU1に切り換えます。
3. コンピューターと本機をUSBケーブルで接続すると、ドライバーが自動的にインストールされます。(17ページ)

USB端子を持つコンピューター

デジタル出力端子を持つ機器

12Vトリガー入力端子を持つパワーアンプの場合。市販の3.5Φモノラルピンケーブル(抵抗なし)



バランス出力端子 (XLR-3-31 相当)

- 1: アース
- 2: ホット
- 3: コールド

入力端子がバランスタイプのプリアンプ

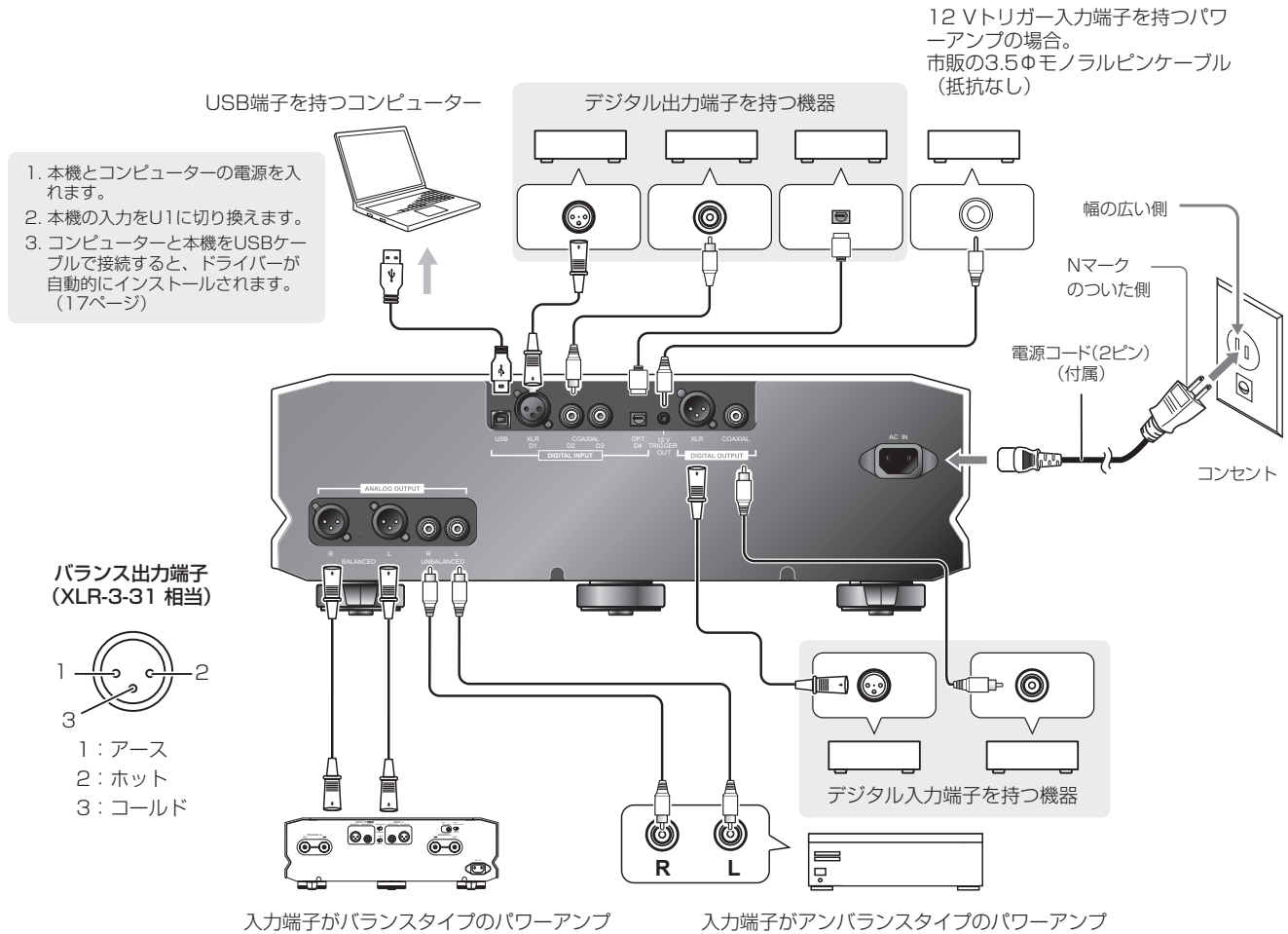
入力端子がアンバランスタイプのプリアンプ

### メモ

バランス/アンバランスのライン出力のレベルについて

- 初期値は、ライン出力は 30 に設定されています。詳しくは 17 ページの「ライン出力レベルを最大値に固定する」を参照してください。

## パワーアンプ機器に接続する場合



### ライン出力ボリューム

ライン出力ボリュームを装備しているので、パワーアンプを接続するだけでシンプルなシステムが組むことができます。

### バランス／アンバランスのライン出力のレベルについて

- 初期値は、ライン出力は 30 に設定されています。詳しくは 17 ページの「音量を調節する」を参照してください。

### ⚠ 注意

- プリアンプを使用せずに、ボリューム機能を使用し、直接パワーアンプに接続する場合は、必ずボリュームを **0 (ゼロ)** にしてから接続してください。大きな値に設定されていると、過大な音量が出てスピーカーが破損したり、聴力を損なう原因となる場合があります。

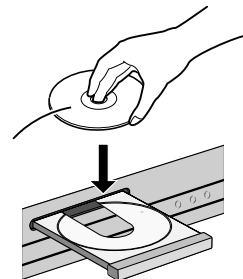
# 再生する

## ディスクを再生する

本機でディスクを再生するには、以下の手順で操作します。

- 本体前面の **電源ボタン**（またはリモコンの **DISC PLAYER ボタン**）を押して、電源を入れる。  
本体前面の POWER インジケーターが点灯していることを確認してください。
- 1. **▲ ボタン**を押す。  
ディスクトレイにディスクをセットする。  
ディスクをセットしたら、**▲ ボタン**を押してディスクトレイを閉めてください。
- 2. 本体前面の **▶/|| ボタン**（またはリモコンの **▶ ボタン**）を押す。  
ディスクの再生を開始します。
  - ・ 一時停止するには、再生中に本体前面の **▶/|| ボタン**（またはリモコンの **|| ボタン**）を押します。
  - ・ 停止するには、再生中に **■ ボタン**を押します。
  - ・ 電源をオフ（スタンバイ状態）にするには、本体前面の **電源ボタン**（またはリモコンの **DISC PLAYER ボタン**）を押します。

印刷面を上にして  
ディスクをセットする



## 本機を D/A コンバーターとして使う

- ディスク停止中に、本体前面の **DAC MODE ボタン**（またはリモコンの **DAC MODE ボタン**）を押します。  
押すたびに入力モードが切り換わります。



- 入力信号を受信しているときは、サンプリング周波数が表示されます。受信していないときは [ - - - ] と表示されます。
- サンプリング周波数表示の単位は「kHz」で、小数点以下は省略されます。
- DSD 信号の場合、2.8 MHz 変調時は [ dSd ], 5.6 MHz 変調時は [ dSd2 ], 11.2MHz 変調時は [ dSd4 ] と表示されます。
- D1、D2、D3 入力では、サンプリング周波数は、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz に対応しています。D4 入力では、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz に対応しています。



## 音量を調節する

### バランス／アンバランスのライン出力のレベルを調節する

パワーアンプ機器と接続する場合に使用します。

初期値は、ライン出力は **30** に設定されています。

- 本体の VOL( - / + ) ボタン、リモコン中央の VOLUME( + / - ) ボタンで調節します。  
操作時の表示はタイム表示もしくはサンプリング周波数表示からライン出力音量表示に切り換わります。

### ⚠ 注意

- プリアンプを使用せずに、ボリューム機能を使用し、直接パワーアンプに接続する場合は、必ずボリュームを **0 (ゼロ)** にしてから接続してください。大きな値に設定されていると、過大な音量が出てスピーカーが破損したり、聴力を損なう原因となる場合があります。

## ライン出力レベルを最大値に固定する

プリアンプ機能を持った機器、録音機器等に接続する場合に使用します。

1. 出力が最大値 (78 と表示) になるまで本体表示部の VOL( + ) ボタンを押します。
2. 最大値の状態 で VOL( + ) ボタンを長押しします。

ライン出力レベルが最大値に固定され、本体の VOL( - / + ) ボタン、リモコン中央の VOLUME( + / - ) ボタンが無効になります。

このとき表示はライン出力音量表示からタイム表示もしくはサンプリング周波数表示に切り換わります。

最大値に固定した状態から、再度ボリューム機能を有効にする場合は、VOL( - ) ボタンを長押しします。

ライン出力レベルが 30 (初期値) に設定され、ボリューム機能が有効になります。

## USB 接続について (初期設定)

本機とお使いのコンピューターを USB ケーブルで接続すると、コンピューターで再生可能なソフトウェアにより、本機で音楽を再生できます。USB 入力の初期設定は U1 (USB AudioClass 1.0) モードになっています。176.4 kHz 以上のサンプルレートや DSD 信号の伝送を楽しむ場合は U2 (USB AudioClass 2.0) モードに設定してください。

1. 本体またはリモコンの DAC MODE ボタンを使って、本機を USB (U1) 入力にします。
2. コンピューターの電源を入れます。
3. 本機をコンピューターと USB ケーブルで接続すると、ドライバーが自動的にインストールされます。

### U1 (AudioClass 1.0) モードについて

- サンプリング周波数は 44.1 Hz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz に対応しています。
- USB 2.0 ハイスピードに対応しています。



### ✎ メモ

- Windows 8 (64 bit)、Windows 7、Windows Vista (32 bit)、Mac OS 10.8、Mac OS 10.7、Mac OS 10.6 で動作を確認しています。それ以外の OS およびバージョンでは動作を確認していません。
- 96 kHz/24 bit、88.2 kHz/24 bit など、高サンプリングレートの音楽を再生するには、コンピューター側のソフトウェアの設定が必要になることがあります。詳しくは、再生ソフトウェアの仕様をご確認ください。

### U2 (AudioClass 2.0) モードについて

- USB の初期設定モードのほかに、176.4 kHz、192 kHz、352.8 kHz、384 kHz、および DSD 信号伝送の DoP 方式に対応した U2 (AudioClass 2.0 DoP 対応) モードがお使いになれます。
- PCM データは 384 kHz サンプリングまで、DSD データは 11.2 MHz サンプリングまでの伝送になります (2021 年 8 月時点)。
- AudioClass 2.0 への設定変更は、次の ✎ メモに従って行ってください。

## メモ

- Windows 10 (32bit/64bit)、Mac OS 11、Mac OS 10.15、Mac OS 10.8、Mac OS 10.7、Mac OS 10.6 で動作を確認しています。
- Mac をお使いの場合、本機を U2 入力にしてから、USB ケーブルでコンピューターと接続すると、ドライバーが自動的にインストールされます。
  1. Windows 端末をお使いの場合、TAD の Web サイト (<http://tad-labs.com>) からドライバーをダウンロードしてください。ドライバーのインストール方法については、TAD の Web サイトをご覧ください。
    - Mac をお使いの場合、ドライバーのインストールは不要です。コンピューターと USB ケーブルで接続することで自動的にインストールされます。
    - インターネット接続を行うためには、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
  2. 本機のスタンバイ中に、本体の DAC MODE ボタンを押しながら  電源ボタンを押します。USB の入力表示が [ U1 ] から [ U2 ] に変わります。
  3. コンピューターの電源を入れます。
  4. 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。
  5. 本モードを解除するには、本機のスタンバイ中に、本体の DAC MODE ボタンを押しながら  電源ボタンを押します。USB の入力表示が [ U2 ] から [ U1 ] に変わります。ALL RESET でも解除できます。

## 注意

- 本機のドライバーがインストールされていない Windows 端末をお使いの場合、または Mac OS 10.5 など、U2 モードに対応していない OS をお使いの場合、本機を U2 モードにしてコンピューターと接続しないでください。コンピューターがフリーズすることがあります。
- 本機が CD/SACD モードのときに、USB ケーブルでコンピューターと接続すると、USB 接続が遮断されます。コンピューター側の設定が自動的に変更されることがありますので、USB 入力以外のときは、本機から USB ケーブルを取り外しておくことをお勧めします。


## メモ

### USB 入力時のデジタル出力について

- 入力信号が DSD 信号の場合、PCM 88.2 kHz に変換されて出力されます。
- 入力信号のサンプリング周波数が 384 kHz、354.8 kHz の場合、それぞれ 192 kHz、176.4 kHz に変換されて出力されます。
- それ以外のサンプリング周波数では、入力信号のまま出力されます。

## SACD や USB の DSD 信号の出力レベルを抑えて聴く

SACD や USB からの DSD 信号を再生し、出力が大きすぎて歪む場合に、出力レベルを抑えて聴きやすくすることができます。初期値は、DSD 変調率 50 % (出力レベル大) に設定されています。

- 本体前面の  ボタンを押しながら、VOL + ボタンを押します。押すたびに、50 % (出力レベル大) と 100 % (出力レベル小) が切り換わります。





## メモ

- SACD インジケータ点灯時および USB 入力時に設定することができます。

## ECO (省エネ) モードを使う

30 分以上ディスクを再生しないか、入力信号がないときに、自動的にスタンバイに移行するかどうかを設定します。

初期値は、OFF に設定されています。

1. スタンバイ中に、本体の  ボタンを押しながら、 電源ボタンを押すと ECO ON (自動的にスタンバイになるモード) になります。設定直後に、表示窓に [ ECO ON ] と表示されます。
2. スタンバイ中に、本体の  ボタンを押しながら、 電源ボタンを押すと ECO OFF (自動的にスタンバイにならないモード) になります。設定直後に、表示窓に [ ECO OFF ] と表示されます。

## ALL RESET

ライン出力が 30 に設定されます。

USB モードは、AudioClass 1.0 になります。

- スタンバイ中に  ボタンを押しながら、 電源ボタンを押します。

故障かな？と思ったら次のことを調べてみてください。意外なミスが故障と思われがちです。また、本機以外が原因の場合も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器も、あわせてお調べください。コンピューターの設定については、TAD の Web サイト (<http://tad-labs.com>) をご覧ください。次の項目を調べても症状が直らない場合は、修理をご依頼ください。

症 状	原因と思われること	処 置
音が出ない。	オーディオコードのプラグが十分差し込まれていませんか？	オーディオコードをしっかりと接続してください。
	接続しているオーディオコードが断線していませんか？または汚れていませんか？	オーディオコードのプラグや本機の音声出力端子、または接続したアンプなどの音声入力端子が汚れていたら、汚れを拭き取ってください。
	ディスクが汚れていませんか？	ディスクを清掃してください。
	一時停止をしていませんか？	再生してください。
	接続したアンプなどの音量が最小になっていませんか？	アンプに接続したときは入力切換、およびスピーカーの設定を確認してください。
	本機のライン出力ボリュームの音量レベルが下がっている。	音量を調整してください。
	本機が消音（ミュート）状態（-が点滅）になっている。	リモコンの MUTE ボタンを押して消音を解除してください。
入力を合わせても音が出ない。	入力端子の接続が正しくない。	接続を再確認してください。
	アンプが消音（ミュート）状態になっている。	アンプの MUTE ボタンを押して消音を解除してください。
	音量が下がっている。	音量を調整してください。
無入力でもノイズが聞こえる。	電源そのものにノイズが残っている。	コンピューターなどのデジタル機器とタコ足配線になっていないか確認してください。
音が歪んでしまう。	アンプの PHONO 端子に接続していませんか？	アンプの PHONO 端子には接続しないでください。
	SACD ディスクの記録レベルが規定より大きい。	SACD の出力レベルを下げてください。（18 ページ）
SACD と CD で音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	本機の故障ではありません。
デジタル入力の音が出ない。	デジタル接続が正しくない。	デジタル接続を確認してください。
	デジタル出力レベル調整機能がついている CD プレーヤーなどのデジタル出力レベル設定が低すぎる。	プレーヤーのデジタル出力設定を適切に修正してください。
	再生ソフトウェアのデジタルフォーマットに対応していない。	出力機器が PCM 以外の音声信号（ドルビーデジタル、DTS など）に設定されているときは、PCM に設定を変更してください。
デジタル出力からデジタル録音ができない。		録音することはできません。
USB 入力の音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンピューターの設定で他の機器が選択されている。</li> <li>● コンピューターの設定が消音になっている。</li> </ul>	コンピューターのサウンド設定を確認してください。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続が正しくない。</li> <li>● コンピューター側で本機が検出されない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンピューターに接続したあとに本機を USB 入力に切り換えると、コンピューターのサウンド設定が本機以外になることがあります。その場合、TAD-USB1 ver2 または TAD-USB2 ver2 に選択し直してください。</li> <li>● 接続を確認してください。</li> </ul>
	ファイル形式、OS、ソフトウェアが対応していない。	対応 OS、ソフトウェア、ファイルのサンプリング周波数を確認してください。（18 ページ）

症状	原因と思われること	処置
USB 入力のサンプリング周波数が常に同じである。	コンピューター側の設定によっては、再生ファイルのサンプリング周波数が異なっても、常に同じになる。	コンピューターの設定を確認してください。
USB 入力から、音楽以外のコンピューターの音が聞こえる。	コンピューターの設定によっては、コンピューターの起動音やエラー音などが本機から再生される。	コンピューターの設定を確認してください。
USB 入力以外するとき、コンピューターのソフトウェアの音楽が再生されない。	USB 入力以外するとき、コンピューター側から本機は認識されない。	USB 入力で切り換えて、コンピューターのサウンド設定を TAD-USB1 ver2 または TAD-USB2 ver2 に選択し直してください。
電源が自動的に切れる。	ECO (省エネ) モードが ON になっていると、30 分以上本機の操作がない場合に電源が切れる。	ECO (省エネ) モードを OFF にしてください。(18 ページ)
ディスプレイ表示が見えない。	表示認識エリアは左右 45° 以内である。	正面から見てください。
	消灯 (ディスプレイオフ) になっている。	本体の <b>DISP OFF ボタン</b> (またはリモコンの <b>DISPLAY OFF ボタン</b> ) を押して消灯を解除してください。
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンの電池が消耗している。</li> <li>● 距離が離れすぎている。</li> <li>● 角度が悪い。</li> <li>● 途中で信号をさえぎるものがある。</li> <li>● 蛍光灯などの強い光がリモコン信号受光部に当たっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池を交換してください。</li> <li>● 7 m 以内、左右 30° 以内で操作してください。</li> <li>● 障害物を取り除くか、操作する場所を移動してください。</li> <li>● リモコン受光部に光が直接当たらないようにしてください。</li> </ul>

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、パイオニア修理受付センターまたはお買い求めの販売店様にご相談ください。

本機は家庭用オーディオ機器 (オーディオ・ビデオ機器) です。店舗などにおける BGM を目的とした長時間使用、車両・船舶への搭載、野外での使用などはしないでください。



### 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

## 仕様

### ■ 本体

形式.....	ディスプレイヤー
入力端子	
デジタル.....	XLR × 1、同軸 × 2、光 × 1、USB (標準 B 型) × 1
対応サンプリング周波数(XLR/同軸).....	44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz
対応サンプリング周波数(光).....	44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz
対応サンプリング周波数(USB).....	44.1 kHz <sup>*1</sup> 、48 kHz <sup>*1</sup> 、88.2 kHz <sup>*1</sup> 、96 kHz <sup>*1</sup> 176.4 kHz <sup>*1</sup> 、192 kHz <sup>*1</sup> 、352.8 kHz <sup>*2</sup> 、384 kHz <sup>*2</sup> DSD64 <sup>*2</sup> 、DSD128 <sup>*2</sup> 、DSD256 <sup>*2</sup>

\*1 Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Mac OS 10.6 以降

\*2 Windows 10、Mac OS 10.6 以降

### USB 動作環境

USB 端子.....	USB 2.0 ハイスピード
出力端子	
デジタル.....	XLR × 1、同軸 × 1
アナログ.....	バランス × 1、アンバランス × 1
定格出力電圧.....	バランス 4 V、アンバランス 2 V (1 kHz 0 dB)
S/N 比.....	115 dB
周波数特性 (サンプリング周波数 88.2 kHz 以上).....	10 Hz ~ 40 kHz - 1 dB
周波数特性 (サンプリング周波数 44.1 kHz).....	10 Hz ~ 20 kHz - 1 dB
電源電圧.....	AC100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力.....	43 W (待機時消費電力 0.5 W 以下)
外形寸法(幅 × 高さ × 奥行).....	440 mm × 150 mm × 406 mm (最大外形寸法)
質量.....	18.5 kg

### ■ 付属品

リモコン.....	1
単 4 形乾電池(IEC LR03).....	2
オーナーズクラブ登録カード.....	1
個人情報保護シール.....	1
保証書.....	1
シート.....	3
電源コード	
取扱説明書(本書)	

### ✎ メモ

- 上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

- Microsoft、Windows、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本書では、次のような略称を使用しています。  
Microsoft Windows 10 operating system : Windows 10  
Microsoft Windows 8 operating system : Windows 8  
Microsoft Windows 7 operating system : Windows 7  
Microsoft Windows Vista operating system : Windows Vista
- Apple、Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

## 保証とアフターサービス

### 保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで、大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

### 補修用性能部品の保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。また、ご転居されたり、ご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、パイオニア修理受付センターにご相談ください。

### 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな?と思ったら」(19 ページ)の項目をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、ご使用中を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご依頼ください。

### 連絡していただきたい内容

- ご住所：
- お名前：
- お電話番号：
- 製品名：ディスクプレーヤー
- 型番：TAD-D1000TX-K, TAD-D1000TX-S
- お買い上げ日：
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）：
- 訪問ご希望日：
- ご自宅までの道順と目標（建物や公園など）：

#### ■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

#### ■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 〈各窓口へお問い合わせ時のご注意〉

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからはご使用になれません。ナビダイヤルは携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。また、一部のIP電話などからはご使用になれません。正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

<b>商品についてのご相談窓口</b>	
TAD商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。	
● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について	
<b>パイオニアカスタマーサポートセンター TAD相談窓口</b>	
受付時間	月曜～金曜 9:30～12:00、13:00～18:00 (土曜・日曜・祝日・パイオニアカスタマーサポートセンター休業日は除く)
【固定電話からのご利用は】	0120-995-823(無料)

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

<b>修理についてのご相談窓口</b>	
修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。	
● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合	
<b>パイオニア修理受付窓口</b>	
受付時間	月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・パイオニア修理受付窓口休業日は除く)
【固定電話からのご利用は】	0120-5-81028(無料)
【携帯電話・PHSからのご利用は】	0570-037-610(ナビダイヤル・有料)
【ファックス】	0120-5-81029(無料)

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

<b>部品のご購入についてのご相談窓口</b>	
● 部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について	
<b>パイオニア部品受注センター</b>	
受付時間	月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・パイオニア部品受注センター休業日は除く)
【固定電話からのご利用は】	0120-5-81095(無料)
【携帯電話・PHSからのご利用は】	0570-057-140(ナビダイヤル・有料)
【ファックス】	0120-5-81096(無料)
<b>インターネットホームページ</b>	
<a href="http://pioneer.jp/support/purpose/parts/flow/">http://pioneer.jp/support/purpose/parts/flow/</a>	
※FAXでご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください。	

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

<b>インターネットホームページ</b>	
本書以外に下記ホームページもご覧ください。	
<a href="http://tad-labs.com/jp/support/index.html">http://tad-labs.com/jp/support/index.html</a>	

令和3年10月現在 記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.061

# TAD

TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC.

© 2021 株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ  
禁無断転載

JIS C 61000-3-2適合品 D50-5-10-1\_A\_Ja

**株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ**  
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート  
<http://tad-labs.com>